

おさだ康秀 県政通信

平成28年6月発行 第2号



おさだ康秀 県政報告会

おさだは何をやっているのか？
県議会での質疑応答は？
おさだの県政活動をご報告します。

オサダの議
おさだ見聞記
おさだ報告記

おさだ報告記

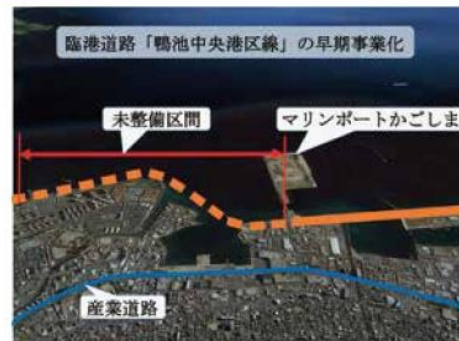


介護職員の方々の意見交換会。

介護職員の方々と、人材確保、人材育成及び処遇改善等について意見交換させて頂きました。沢山の方々から貴重なご意見を頂きました。その貴重な声を12月議会で一般質問いたしました。

国土交通副大臣に要望活動。

鹿児島県臨港道路整備促進議員連盟の幹事として、国土交通副大臣に産業道路の渋滞解消等の要望を致しました。



おさだ見聞記

県内各地で様々な方々と交流し、県民の声を聞き現場を見る。おさだ康秀の見て聞いて感じた活動報告&見聞記、まずは一報。

大隅地域 視察記

学校関係者、地元の学校支援団体と意見交換を行いました。また、警察署、交番、駐在所の概況等を調査しました。



北薩地域 視察記

学校や関連施設を訪問し、専門高校の活性化及び特別支援教育の取り組み状況について調査しました。



【所属委員会及び役職】

【H27年】

- ・文教警察委員会 副委員長
- ・地方創生総合戦略等特別委員会 委員
- ・決算特別委員会 委員
- ・予算特別委員会 委員
- ・政策立案検討委員会 委員

【H28年】

- ・産業経済委員会 副委員長
- ・海外経済交流促進等促進特別委員会 委員
- ・議会運営委員会 委員

【県議会議員連盟】

- ・国道10号整備促進議員連盟幹事
- ・臨港道路整備促進議員連盟幹事

【自民党議員連盟】

- ・自民党介護福祉政治連盟 事務局長
- ・自民党県議団子ども・子育て環境対策調査会 副会長
- ・自民党県議団私学振興調査会 幹事長

【プロフィール】

本籍：南九州市顛娃町(青戸) 祖父：奄美市出身
 ・昭和52年谷山生まれ
 ・西谷山小学校、谷山中学校卒業
 ・宮崎日章学園高等学校卒業(野球留学)
 ・鹿児島国際観光短期大学校修了(在学中アメリカUMHB 留学)
 ・海外研修(ワーキングホリデー)
 平成10年カナダ滞在 平成12年オーストリア滞在
 ・県議会議員2期目

県議会議員・自民党県議団 副会長
やすひで

おさだ康秀

事務所

【ホームページ】 osadayasuhide.com
 【アメーバブログ】 <http://ameblo.jp/yasuhide-osada/>
 【facebook】 <https://www.facebook.com/yasuhide.osada.7>
 〒891-0116 鹿児島市上福元町 3930

TEL.099-266-0321 FAX.099-296-1214



1 地方創生について

質問の趣旨

小・中学校は、地域コミュニティの核でありまして、まちづくりの観点から、学校づくりの活性化を図ることは極めて重要であると考えます。幸い本県では、山村留学の受け入れ人数は全国1位であります。しかしながら、現状では、周知や募集案内、これは市町村が実施主体でございますが、県外で必要とされておりまして、関係者や保護者の方々に十分に情報が届いていないということが課題であると考へますが、お答えください。



教育長の答弁

平成27年4月現在、22市町村で山村留学を制度化しており、そのうち、10市町村、31小・中学校で児童生徒108人を受け入れております。

また、地方創生有識者懇話会においては、「山村留学に関し、もともと県として支援することで人口流入の促進につながるのではないかと」、取り組みの周知に力を

オサダの議

入れるべきではないか」などの御意見を頂いたところで、今後とも、山村留学に係る情報発信を積極的に行うことを通じ、市町村の取り組みに対する支援に努めて参りたいと考えております。

主な一般質問の内容

1.地方創生について

- ◎山村留学の現状と今後の取り組みについて
- ◎日本版CCRC構想について
- ◎若い世代の県外流出について

2.雇用問題について

- ◎職業別の有効求人倍率について
- ◎高校生のインターンシップの取り組み状況について
- ◎求職者への対策について

3.高齢者問題について

- ◎特別養護老人ホームの現状及び対策について
- ◎若年性認知症について
- ◎グループホーム施設数・待機者数について

4.介護職員等の問題について

- ◎介護職のイメージアップについて
- ◎介護職員の処遇改善について
- ◎介護職員の人材確保について

2 雇用問題について

質問の趣旨

直近の平成27年1月から3月の求職者数が2万8千人であります。併せまして、労働者全体に占めます非正規労働者の方々は40%以上であります。これは年々増加している現状であります。その格差や求職者が望んでおりますニーズに少しづつでも対応することが極めて大切であると考えますが、取り組みについてお答えください。

商工労働水産部長答弁

県では、各種就職支援セミナーの開催や職業選択などを効果的に行うためのキャリアコンサルティング、若年者を対象とした実践的な訓練などに取り組んでいきます。また、県立高等技術専門学校における職業訓練、民間教育訓練機関を活用した委託訓練も実施しています。非正規労働者につきましては、働き方に合わせた公正な待遇を確保することが重要でありますことから、パートタイム労働者等の実態把握に努め、労働基準法などの関係法令の周知啓発を図りますとともに、企業に対して、非正規労働者の処遇改善を要請しているところであります。

オサダの議

直近の27年10月で有効求人倍率が0.87倍で数字は上がってきておりますが、地方におけるアベノミクス効果を隅々まで行き届くためには、求職者の方々の就労支援、また業種別での分野を求めているのかなどの、きめ細かいスマッチ対策等をしなければ、根本的な解決には、私は結びつかないと考えます。数字も大切ですが、現場の生の声を大事にして頂きたいと強く要望を致しました。

3 高齢者問題について

質問の趣旨

2014年3月時点で、特別養護老人ホームの待機者が約52万人であります。入所待機者を2020年初めまでに解消することを目標として、来年度から国では特別養護老人ホームの整備費拡充を最重要施策としております。本県における特別養護老人ホームへの整備をどのように進めていくのか、また併せましてグループホームの待機者数もお答えください。

保健福祉部長の答弁

本県の特別養護老人ホームの待機者数約6千5百人でございます。

入れるべきではないか」

などの御意見を頂いた

ところで、今後とも、山村

留学に係る情報発信を積極的に

行うことを通じ、市町村の取組み

に対する支援に努めて参りたいと考

えています。

昨年5月に文教警察委員会と南種子町教育委員会と、また11月中旬に北薩地域での視察の中で、出水市立荘小学校、特認校の出水市立藤島小学校で意見交換を行った際、その中で、地域住民がお互いに知恵を出しまして、学校と連携を図って、校区外から、県外から、沢山の方々を積極的に受け入れる体制を作っていました。私自身は、本当地域の方々が必死になって一生懸命でありまして、とにかく学校を廃校にしてはならない、なくてはならないと、学校の活性化こそが地域の活性化に繋がるといふことを現場で強く感じた事を、教育長に質問を致しました。

県では、これまでも市町村と連携を図りながら計画的な整備を進めておりまして、昨年度までの第5期県介護保険事業支援計画期間3年間におきましては、655床の整備を行いました。またグループホームの待機者数は1千835人となっております。

オサダの議

高齢者の問題は、介護職員の確保等も大切ですが、施設への入居待機者も多い状況を解決していくためには、施設整備及び在宅介護への支援を両輪で、きめ細かく進めていかなければならない事を強く要望を致しました。

4 介護職員等の問題について

質問の趣旨

介護職員不足等の問題についてでありまして、介護職の人材を定着させるための処遇改善また、人材確保の取り組み状況について、それぞれお答えください。

保健福祉部長の答弁

介護職員の処遇改善につきましては、事業者において、平成21年度から、国の介護職員処遇改善交付金や介護職員処遇

オサダの議

改善加算等を活用して取り組んできておりまして、また、介護職員の人材確保については、平成26年度には、就職ガイダンス1回、就職面談会4回を開催し、事業者延べ243、求職者延べ584人の参加がありました。91人の採用に繋がったところでありまして、



介護職につきましては、肯定的なイメージもある一方で、離職者のうちの約7割は、入職後3年以内に離職されるデータが出ておりまして、そのために求人倍率がほかの仕事と比べますと非常に高いわけでありまして。従いまして、過去に働いた方々に戻ってきて頂ける労働環境の整備、現在、働いている方々の人材育成・処遇改善、未来の人材育成として、現場に向向いて体験・見学型の福祉教育の展開を図り、行政だけでなく社会全体で介護職に従事される方々への理解と支援を積極的にして頂きたいと要望を致しました。